

【第57回】 県高校総体

第2日

穴吹が4年連続11度目の栄冠を獲得した。ウエートリフティングの鳴門渦潮は2年連続2度目、レスリングの池田は2年連続14度目のV。ボクシングは吉野川が制した。1校だけの出場となったボートは徳島市立、カヌーは那賀、フエンシングは城ノ内が男女とも優勝。陸上は女子走り幅跳びの木村美海(つるぎ)と女子400リレーの城南、鳴門渦潮が大会新記録を出した。第3日の4日は26競技が行われる。

富岡西 13年ぶりV

女子は富岡東4年連続



富岡西対徳島文理 次鋒戦でメンを決める富岡西の井地岡(那賀川スポーツセンター) (秋月悠撮影)

剣道

(那賀川スポーツセンター)

【男子】団体1回戦 脇町3-1
 ○海部那賀3-0鳴門、城東4-1小松島、阿南高専3-0板野、富岡東4-1池田、△同戦 富岡西5-0勝野、城ノ内5-0徳島市立、城北4-0那賀、川島4-1城東、徳島科技5-0阿南高専、鳴門渦潮5-0阿波、阿南工2-1徳島北、徳島文理3-1富岡東、準々決勝 富岡西5-0城ノ内、城北3-0川島、鳴門渦潮3-0徳島科技、徳島文理2-0阿南工、準決勝 富岡西2(代表勝ち)2-0阿南工、城北、徳島文理2-1鳴門渦潮、3位決定戦 鳴門渦潮1-0城北、△決勝 富岡西3-1徳島文理、富岡東4-0富岡西、服部真1-金森、○井地岡、服部比1-メコ、矢代、○後藤、片岡、○山上雄、藤本、【女子】団体1回戦 富岡東4-0片岡、メー、橋本

チーム力で混戦制す 富岡西

実力伯仲の男子団体で全国切符をつかんだのは、4月の県連盟会長杯を制して勢いに乗る富岡西だった。選手は「努力が報われた」と泣きじゃくり、抱き合って喜びをかみしめた。

緊張して試合で実力を出し切れない選手が多いため、「笑う門には福来る」を合言葉に本番に臨んだ。先鋒が引き分けた後、「緊張しやすい」と言う井地岡

が、相手を押した後に引くと見せ、練習中はいつも「ここにこし」と声を掛け、選手を鼓舞してリラックスし、流れをつかむことができた」と胸を張った。

中堅が2本負けして追いつかれても、副将の後藤が得意のメンを奪い、再びリード。2-1で出番が回ってきた大将の田上雄は「引き分けを狙ったら負け」と終始攻め、相打ちながら一瞬速くメンを決めて試合を締めた。

(須見千次郎)

1本も奪われず

○：4連覇を果たした富岡東女子は1回戦から決勝まで



先鋒の富田(写真)と次鋒の山口は「同」は一チームを波に乗せることができた」と満ちた。

足さずに振り返った。決勝では富岡東が相手が間合に入ってきたところにメンを決めた。山口はメンへのフイェントにつられて手元の浮いた相手にコテ、さらに上段からメンで2本勝ち。中